

2021年8月12日

乳がん検診 受診者 各位

公益財団法人栃木県保健衛生事業団
健診精度管理委員会

新型コロナワクチン接種後に乳がん検診を受診される皆様へ

新型コロナワクチン接種後の副反応として、倦怠感や発熱などのほかに、わきの下のリンパ節の腫れがみられることが報告されています。

これは、抗体をつくるために免疫機能が働いている兆候なので心配は要りません。

日本乳癌検診学会では、接種の影響が他の病気と間違えて判定が起きないように、「ワクチン接種前に施行するか、2回目ワクチン接種後少なくとも6～10週間の間隔をおいてから施行すること」を推奨しています。

しかし、日程の調整が難しい場合は、受診機会を逃さないためにも受診日をずらさずに検診を受けてください。

なお、検診時にリンパ節の腫れの所見を認めた場合は、ワクチン接種の状況を確認させていただいたうえで適切に判断いたします。

引き続き感染対策にも万全を期しておりますので、安心して乳がん検診を受診してください。

【本件に関するお問合せ先】
健康支援課 TEL028-623-7063